

# 平成27年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

1 頁

## 1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	18156 老人クラブ運営費助成事業				
基本政策	01 ともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち				
政策	05 高齢者がいきいきと暮らせる長寿社会				
施策	01 自立生活の支援・介護予防の推進				
実施形態	補助・負担金				
事業期間	終期なし(恒常的)		昭和58年度～		
要求区分	継続		予算区分 政策		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有無	なし				
法令名	厚生労働省通知：老人クラブ活動等事業実施要綱(県・市町村が助成することになっている)				
予算科目	01-030103-050100				
部名	23 福祉部	課名	02 長寿福祉課		
課長名	伊藤 景香	T E L		内線	260

## 2. 対象・目的・内容

事業概要	高齢者が地域の一員として活躍するとともに、レクリエーション等の活動を通じて親睦を深め合い、老後の生活を豊かなものとするため、老人クラブ及び老人クラブ連合会の運営費を助成する。
事業の対象 (誰・何を)	西脇市老人クラブ連合会、会員数がおおむね30人以上である単位老人クラブ 58クラブ(平成26年度現在)
事業の目的 (どういう状態にするために)	明るい長寿社会づくりに向け、組織の活性化と事業の推進を図るための運営費や活動費を助成し、高齢者の社会参加の機会と場を提供する。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	老人クラブ連合会助成事業、老人クラブ助成事業として補助金を支給。(国・県の補助あり) 老人クラブ連合会に対しては、市単独補助あり。

## 3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費	一般財源						
		国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源
平成24年度決算額	7,925	0	5,024	0	0	0	0	2,901
平成25年度決算額	7,549	0	4,774	0	0	0	0	2,775
平成26年度決算額	6,691	0	4,203	0	0	0	0	2,488
平成27年度予算額	7,405	0	4,679	0	0	0	0	2,726

## 4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成26年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成26年度決算額(B)	総コスト(A)+(B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.05	0.05	0.10	508	6,691	7,199
事業費の主な使途		補助金			

# 平成27年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

2 頁

## 5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指 標 名	補助件数				単 位	件
	説 明 や 数 式	補助金交付件数					
	年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目 標 値	72	72	60	60		
	実 績 値	66	59				
	経費(千円) 単位当たりのコスト	8,057 122.08	7,199 122.02				
活動 指標 ②	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目 標 値						
	実 績 値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
成果 指標 ①	指 標 名	会員数				単 位	人
	説 明 や 数 式	老人クラブ会員総数					
	年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目 標 値	6500	6,500	5,500	5,500		
	実 績 値	5,535	5,158				
	経費(千円) 単位当たりのコスト	8,057 1.46	7,199 1.4				
成果 指標 ②	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目 標 値						
	実 績 値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
実績・成果 等の説明	<p>会員の高齢化や単位クラブの会長を務める人材が不足し、活動クラブ数と会員数の両方が目標値を下回っており、年々減少傾向にある。 平成24～26年度の目標値は第5期西脇市高齢者安心プランに、平成27～29年度の目標値は第6期西脇市高齢者安心プランに基づき設定</p>						

## 6. 評価

1 次 評 価	評 価 ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
	事 業 の 総合評価	直接のサービスの相手方	3	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	2
	説 明	<p>継続実施 高齢化率が上昇するなかで、活力ある社会を構築するためには、高齢者が主体となって活動し、積極的に社会参加することが、今後ますます求められる。 老人クラブは、地域を基盤とした高齢者の生きがいや健康づくりを推進する組織であり、国、県においても積極的な支援をするとともに、市にも老人クラブへの支援を促しており、本事業は継続実施が必要と判断する。</p>					
2 次 評 価	評 価 ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
	事 業 の 総合評価	直接のサービスの相手方	3	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	1
	説 明	<p>継続実施 老人クラブ活動については、厚生労働省通知においても、県・市町村が助成するように推奨されていることから、助成については継続実施もやむをえないと判断する。ただし、会員数、クラブ数の減少は今後とも大きな課題であることから、市老人クラブ連合会においても、新規会員の加入促進活動に取り組まれているところであるが、単位クラブの脱退による会員数の減少を食い止めるためにも、老人クラブ活動の魅力を積極的にPRするよう市としても積極的な支援が必要である。</p>					